

患者の術前後および1年後のQOL・高次機能評価からみた 無症候性未破裂脳動脈瘤に対する血管内治療の優位性

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

■ 研究の対象となる方

2017年4月～2023年3月に無症候性未破裂脳動脈瘤で、開頭クリッピング術もしくは脳動脈瘤コイル塞栓術を予定手術で実施した患者

■ 目的・方法

当科では低侵襲治療ファーストに、2020年に無症候性未破裂脳動脈瘤の治療の第一選択を「開頭クリッピング術」から「血管内治療（脳動脈瘤コイル塞栓術）」へ変更しました。本研究は、手術の前後、術後1年のQOL及び高次脳機能の変化やその要因を調べ、両治療方法を比較検討することが目的です。

尚、診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報进行削除し、済生会熊本病院内で情報を集約し、解析・検証を行います。久留米大学では統計処理後の結果の検証を行いますので、患者さんの個人情報の提供は行いません。

■ 実施期間

2023年6月9日～2025年3月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、身長、体重、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、服薬情報、バイタル情報、併存疾患情報、ADLなどの基本的な情報や血液検査やCT画像データ、手術前後のQOLや高次機能評価、入院期間の診療内容に関する情報が含まれます。

■ 研究の実施体制

研究代表 済生会熊本病院 脳神経外科 副部長 加治 正知

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。また、本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個別にご説明することも可能です。いずれも下記へお申し出下さい。

試料や情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先

済生会熊本病院 医療情報調査分析研究所 小妻 幸男

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)

以上